

- 日中フォーラム -

「文化・芸術の日中交流の歩みと恵み」

総 括 報 告

令和6年12月14日 つくばカピオホール

特定非営利活動法人
つくば日中協会 事務局

1. 開催にあたって

2024年12月14日（土）つくば市カピオホールにて、NPO つくば日中協会が主催する「日中フォーラム」（テーマ：文化・芸術の日中交流の歩みと恵み）が開催されました。300名を超える皆様にご来場いただき、平和友好への思いとその発信にご賛同いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

つくば日中協会は元工業技術院研究員だった不破正宏氏が中心になり任意活動団体として1993年に活動をはじめ、活動の幅を広げるために2020年に特定非営利活動法人となり、それらを記念する友好行事として企画いたしました。

「日中フォーラム」という形式では、不定期にその時期に即したテーマを設定し、その都度平和友好というものについて当協会と市民の思いを発信してまいりました。今回は、複雑化する国際情勢の中で、気が遠くなるほど長い日本と中国間の交流がその時代の情勢に影響されながらも絶えることなく現在に伝わっているこの貴重な「奇跡」にフォーカスしてみようというコンセプトから企画したものです。周恩来元首相の「以民促官」の言葉をおかりしますと、市民から平和友好をひろく発信できた友好行事が開催できたと確信しております。

中学校で初めて勉強する日本-中国の歴史は、後漢の光武帝が建武中元2年（57年）に奴国からの朝賀使へ賜った「金の印鑑」あたりから始まり、遣唐使の時代があり、空海が恵果和尚から密教を託され高野山の開山があり、フビライハーンの時代があり、そのずっと昔には、秦皇帝が統一を果たし、諸子百家あり、三国志あり、武田信玄は孫子の言葉から「風林火山」のキャッチフレーズを作ったり、近年では孫子の兵法がビジネス手法と結び付けられたり、無数のメニューの食文化、伝来した音楽、漢字など数えきれない膨大なボリュームの交流の蓄積があ



名誉会長 五十嵐つくば市長挨拶

ります。そのような時間的にも空間的にも無限とも言える出来事や知恵の蓄積を時代の切片としてではなく、皆様に膨大な歴史の時空間として楽しんでいただきたく、各分野の第一線でご活躍の方々にご相談申し上げながら1年をかけてプログラムを作成しました。また、中国からの来場者やオンライン参加もあり、グローバル感も少し楽しんでいただけたことと思います。

「日中フォーラム」開会にあたり、まず、当協会理事長の唐莉莉が挨拶をさせていただきました。これまでの協会の活動や運営に係わった多くの方々へのお礼、当日フォーラムに来場いただいた皆様へのお礼などを申し上げます。長い日中の歴史において良い時期も良くない時期もあったが、その中でも文化・芸術の交流は絶えることなく続いて来たことや、協会の日中交流事業を紹介しました。続いて、当協会の名誉会長であります五十嵐立青つくば市長からの挨拶がございました。つくば市の姉妹都市である深圳市を訪問した際の思い出などをお話いただきました。また、中国駐日本大使館文化処公使参事官の陳静様からは丁重な祝辞を頂戴しました。



理事長 唐莉莉挨拶



陳静公使参事官ご祝辞

王賀書記官代読

2. ご来賓、ご賛助いただいた皆様

今回の「日中フォーラム」には、つくば市の団体代表と茨城県と取手市日中友好協会の代表や賛助企業の代表及び中国から来場参加の多くの来賓の方々にご多忙の中ご来場いただきました。

特に衆議院議員の青山やまと先生、国光あやの先生におかれましては、ご多忙な中時間を割いてご来場いただき、また丁重なご賛同と励ましのメッセージを頂戴しましたこと心より深くお礼申し上げます。今回の行事についてお知らせでき、日本・中国の両国市民の友好への思いをお伝えできましたこと、これからの両先生の国政活動の中に反映いただけましたら幸いです。

3. 「日中フォーラム」第一部 文化芸術講演

第一部の文化芸術講演では、第一線でご活躍の専門家の方々のご講演がありました。

筑波大学の井川先生から、私たちが中国と日本の間だけと思っていた中国哲学が、実はヨーロッパまで広がっていて世界にも大きく影響を与えてきた史実などわかり易く説明いただきました。万葉集研究家の布浦万代先生、筑波大学芸術系の松井先生、そして中国駐日本大使館文化処王賀先生のお話から、日本と中国は歴史の上で、そして現時点でも、私たちが感じている以上に強い文化的係わりがあり、これ

からもその交流が未来へ続いていくことを実感以上に体感いただいたのではないのでしょうか？ とにかく気の遠くなるような長い日中の文化交流の歴史に皆様にもう一度目を向けて振り返る機会になりましたら幸いです。

講演 1 「日本・世界に影響を与えた中国哲学の普遍性」	筑波大学人文社会系教授	井川義次様
講演 2 「万葉集と中国文化」	万葉集研究家	布浦万代様
講演 3 「中国における世界遺産保存活動」	筑波大学芸術系教授	松井敏也様
講演 4 「日中文化交流について」	中国大使館文化処書記官	王賀様



筑波大学人文社会系
井川義次教授



万葉集研究家
布浦万代先生



筑波大学芸術系
松井敏也教授



中国駐日本大使館文化処
王賀書記官

4. 「日中フォーラム」第二部 音楽の調べ



ピアノ演奏

第二部の音楽の調べでも、各分野の第一線でご活躍の方々から演奏・舞踊披露いただきました。ピアニストの石井絵里様からは、世界中の人々の望みである平和を願い、不安定な 19 世紀のヨーロッパで祖国の平和を願ったショパンから 2 曲、そして彼の友人リストの「ラ・カンパネラ」の演奏がありました。ラ・カンパネラは「鐘」という意味で、皆様の思いが鐘の音として広く響きますようにという願いです。

箏演奏家の稲葉菜穂

子様と尺八演奏家の佐々木徹様には、中国からの影響を受けながらも日本で独自の発展をとげた日本の伝統楽器の箏と尺八の二重奏を演奏いただきました。千数百年の伝統楽器の奥深く澄んだ音色が日中の素晴らしい交流の歴史を鮮やかに映し出しているように感じられる素敵な演奏でした。



箏尺八演奏



雅楽「蘭陵王」



「巴塘弦子」チベット舞

唐の時代に伝来した舞楽「蘭陵王」を水戸雅楽会の皆様に披露いただきました。「蘭陵王」は中国の北齊の王様が主人公で豪華なお面を被っています。今ではこの舞楽が日本の代表的な伝統芸術になっています。伝来した奈良時代から変わることなく踊り継がれているこの事実に驚きを隠せません。

北京市と成都市の仲間たちから、オンライン参加があり、京劇「坐宮」や四川チベット民族ダンスの披露がありました。当日の10分間のために映像に映った多くの仲間たちが準備・練習を



京劇「坐宮」

して日本の皆さんに見てほしいと言って演じてくれました。四川省成都市からは観光地での映像で、遠くに見えていた山々

は四川省チベット族自治州巴塘地域の高原です。

つくば市で活動している BM バレエと協会会員及び留学生たちは、今回の「日中フォーラム」のために、18人の中国民族服舞団を編成しました。「羽衣伝説」に出てくるような衣装で素敵な演技が強く印象に残っています。



「花楼恋歌」民族服舞



筑波和太鼓「筑鼓」演奏

「日中フォーラム」締め括りの演奏は、つくば和太鼓の会「筑鼓（つくどん）」の皆さんでした。当日の演奏のために巨大太鼓を用意して、意表を突く演出と大迫力のステージで楽しませていただきました。そして、巨大太鼓の音は、平和友好の響きとして地球の裏側までも届いたことでしょう！

5. おわりに

多くの皆様のご協力とご来場によりまして、今回の「日中フォーラム」を無事開催することができました。また、歴史・文化そして芸術にもう一度目を向けることで、新しい日本と中国の交流を臆気ながら感じ取っていただけたものと思います。

このイベントを通して、1972年に実現した日中国交正常化の際に周恩来氏が掲げた「以民促官」の精神をかりまして、

「つくば市から平和友好への市民の思いを広く発信し、世界に響きますように！」



日中フォーラム後 日中親睦交流会

「日中フォーラム」開催スタッフ

つくば日中協会

唐 莉莉
青木 克裕
杜 明遠
川村 路子
由布 宗郷
巖 康敏
中山 由美
遠藤 一昭
曾 継業



司会: 曹曉紅 遠藤一昭

お花: モモイパンフラワー

筑波大学中国人留学生学友会

李旻耕、王夢琪、張旭波等、13 名



300 名を超える皆さんにご来場

お礼

布浦万代様(個人)からは、本フォーラム開催へのお祝いを頂戴いたしました。

つくば市文化協会の桃井登志枝様(モモイパンフラワー)からは、ステージに素敵なパンフラワーをデコレーションいただきました。

心より深くお礼申し上げます。

主催: 特定非営利活動法人つくば日中協会

協賛: 筑波大学中国人留学生学友会

後援: つくば市

中国駐日本大使館

つくば市国際交流協会

賛助スポンサー

一般財団法人筑波麓仁会筑波学園病院

医療法人健佑会いちほら病院

武漢華中高校教育科技有限公司

北京航空航天大学

筑波国際交易有限公司

関彰商事株式会社

慧真(個人)

広東工業大学

「日中フォーラム 文化・芸術の日中交流の歩みと恵み」 プログラム (2024 年 12 月 14 日 13:30 より)

13:00 開場

13:30 開演

つくば日中協会理事長挨拶	唐莉莉
13:40 つくば日中協会名誉会長挨拶	五十嵐立青つくば市長
13:50 中国在日本大使館文化部祝辞	陳諍公使参事官
14:00 来賓紹介	
14:10 海外拠点からの祝辞	
北京市怀柔科学技術城副主任	蘭雄景(日本語通訳)
無錫市国際貿易促進会会長	銭前(日本語通訳)
烏魯木齊(つくば日中協会デスク)	杜明遠(日本語)
14:20 <休憩>	

14:30 第一部 文化講演

14:30 講演1「日本・世界に影響を与えた中国哲学の普遍性」	筑波大学人文社会系教授	井川義次
14:45 講演2「万葉集と中国文化」	万葉集研究家	布浦万代
15:05 講演3「中国における世界遺産保存活動」	筑波大学芸術系教授	松井敏也
15:20 講演4「日中文化交流について」	中国駐日本大使館文化処書記官	王賀
15:35 <休憩>		

15:50 第二部 音楽の調べ

15:50 ピアノ演奏	平和を願うショパンとその友人リストの曲から 「ノクターン第二番」「ワルツ第七番」「ラ・カンパネラ」 つくば市在住ピアニスト 石井絵里
16:05 箏尺八演奏	「月虹」「君をのせて～天空の城ラピュタより」 つくば市文化協会 箏曲演奏家 稲葉菜穂子 尺八演奏家 佐々木徹
16:20 雅楽公演 「蘭陵王」	水戸雅楽会
16:40 京劇「坐宮」(オンライン参加)	つくば日中協会 北京デスクより 北京虹韻京劇社 王俊虹・許丹
16:50 民族ダンス (オンライン参加)	つくば日中協会 成都郫都デスクより
17:00 中国民族舞「化蝶」	つくば BM バレエ 黄鶯・楊源美
17:10 民族服披露「花楼恋歌」	協会会員・筑波大学留学生 陳雨詩等
17:15 和太鼓演奏	つくば和太鼓の会 筑鼓

17:30 閉会